

委員会の活動評価について

今期（令和3年5月～）

1 チェックシートによる評価

令和4年

4月18日（月）常任委員会（総務地域連携デジタル社会推進、環境生活農林水産、医療保健子ども福祉病院）
（戦略企画雇用経済、防災県土整備企業、教育警察）、特別委員会（差別解消を目指す条例検討調査）
4月18日（月）予算決算常任委員会理事会

- (1) チェックシートの項目を参考に、1年間の委員会活動を振り返り、良かった点、改善すべき点等を委員間討議する。
- (2) 委員間討議の後、正副委員長、各委員（理事）がそれぞれチェックシートに評点等を記載して提出する。
- (3) 前述議論とチェックシートによる評価結果を踏まえて、正副委員長が「委員会活動評価総括表」を作成する。

2 委員長会議での報告及び確認

5月12日（木）委員長会議（予定）

各委員長から、「委員会活動 評価総括表」により、1年間の委員会等活動の評価を報告するとともに、委員長間で共有すべき取組等を確認し、次期委員会等への引継ぎ事項を整理する。

※委員長会議開催後に常任委員会等を開催した場合には、「委員会活動 評価総括表」への補足の有無・内容について、当該委員会（理事会）において協議し、補足後の「委員会活動 評価総括表」を委員長から議長に提出する。

3 代表者会議への報告

5月18日（水）代表者会議（予定）

議長から、委員会活動の評価や次期委員会への引継ぎ事項も含め議会活動計画の実施状況を報告し、今後の対応方針を決定する。

次期（令和4年5月～）

4 次期委員会への引継ぎ

5月19日（木）委員長会議（予定）

議長から、次期委員長に、代表者会議で決定した対応方針とともに、前期の委員会活動の評価を引き継ぐ。

常任委員会活動チェックシート

このチェックシートは、「三重県議会 議会活動計画」に基づき、毎年次の委員会活動について自己評価を行うものです。

「基本方針」を踏まえて、今年次の委員会活動を振り返り、それぞれの「評価対象項目」について、「取組の方向」や「評価の視点」を参考にして、委員（理事）の皆さんで自己評価（5段階評価）を行ってください。（但し、該当のない項目は評価しませんので、当該項目の評価欄には「－」をつけてください。）

【チェックシートを記入するにあたっての注意事項】

<p>■点数の基準</p>	<p>○委員個人の評価とします。</p> <p>○基準となる点数は「3点」とします。</p> <p>1点・・・「ほとんどできなかった」「不満足」</p> <p>2点・・・「あまりできなかった」「例年よりもできなかった」「やや不満足」</p> <p>3点・・・「通常どおりできた」「例年どおりできた」「普通」</p> <p>4点・・・「通常よりも良くできた」「例年よりも良くできた」「概ね満足」</p> <p>5点・・・「ほぼ完璧にできた」「十分満足」</p>
<p>■評価できない項目（該当なし「－」）</p>	<p>○チェックシートを記入する前に、委員間で協議を行い、評価項目に含めるか否か（「－」とするか否か）を委員会として決めます。</p>

常任委員会活動チェックシート

委員会名（ 総務地域連携デジタル社会推進常任委員会 ）

○基本方針 ～住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進～ 議会の本来の機能である政策決定並びに知事等の事務の執行について監視及び評価を行います。

番号	評価対象取組	取組の方向	評価の視点	評価	自由記載(評価点の理由や気づいた点)
1	委員会審議の活性化	議事機関としての議会の機能を十分発揮するため、議員相互間の討議を積極的に行うよう努めます。 また、効率的かつ効果的な委員会の運営を図るため、委員長会議の開催をはじめとした委員会間の情報共有・調整及び連合審査会の活用に努めます。	議員間討議の機会は十分に確保されていましたか。 議員間討議の機会を十分に活用しましたか。 議員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。		
2	年間活動計画	効率的かつ効果的な委員会の運営を図るため、1年間の活動スケジュール、重点調査項目、県内外調査等の予定について定める年間活動計画を策定します。	年間活動計画の策定に当たって、委員会で十分に議論を行いましたか。 年間活動計画の内容は適切なものでしたか。 年間活動計画に沿って委員会活動を行いましたか。		
3	重点調査項目	県政で課題となっている項目など、年間を通じて特に調査を行っていく必要がある事項を「重点調査項目」として年間活動計画で定めます。	重点調査項目の設定に当たって、委員会で十分に議論を行いましたか。 重点調査項目の内容は適切なものでしたか。 重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。		
4	県内外調査	「重点調査項目」を中心として、所管事項について調査するための県内外調査の予定を年間活動計画で定めます。	県内外調査の調査先は適切でしたか。 調査先で十分な調査を実施しましたか。 県内外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。		
5	当初予算に係る調査・審査	「当初予算」については、毎年度、議長を除く全議員参加型の予算決算常任委員会を中心に調査・審査を行います。 当初予算について、予算編成が始まる前や予算要求の段階から予算調製方針、予算要求状況などの調査・審査を行います。 予算決算常任委員会に6つの分科会を設置し、当初予算の詳細な調査・審査を行います。	当初予算について十分な調査・審査を行いましたか。 当初予算に議会の意思を反映させるよう、具体的な提言や提案を実施しましたか。		
6	総合計画に係る調査・審査	「強じんな美し国ビジョンみえ(仮称)」及び「みえ元気プラン(仮称)」の策定並びに「みえ県民カビジョン」及び「みえ県民カビジョン・行動計画」の「成果レポート」の作成に合わせて調査・審査を行い、知事への申し入れを行います。	総合計画等について十分な調査・審査を行いましたか。 総合計画等に議会の意思を反映させるよう、具体的な提言や提案を実施しましたか。		
7	個別の行政計画に係る調査・審査	個別の行政計画については、改定時期を見据え、基本的には所管の常任委員会で調査・審査を行います。 議会の議決対象となっている計画については、所管の常任委員会での調査・審査だけでなく、本会議における議案質疑を行うなど、より詳細な調査・審査等を行い、議決に至るまで一貫して議会が関与します。	個別の行政計画について十分な調査・審査を行いましたか。 個別の行政計画に議会の意思を反映させるよう、具体的な提言や提案を実施しましたか。		

○基本方針 ～開かれた議会運営の実現～ 議会活動を県民に対して説明する責務を有することに鑑み、積極的に情報の公開を図るとともに、県民が参画しやすい開かれた議会運営を行います。

番号	評価対象取組	取組の方向	評価の視点	評価	自由記載(評価点の理由や気づいた点)
1	参考人制度等の活用	県政の重要な案件又は県民の利害に関わる重要な案件の調査・審査に当たっては、専門的知識を有する者のほか、利害関係者や県民の意見を反映させるため、必要に応じて参考人の招致や公聴会の開催を行います。	必要に応じて、参考人招致や公聴会の実施について協議を行いましたか。 参考人招致や公聴会における意見をその後の調査・審査に活用しましたか。		
2	請願への対応	受理した請願については、主として所管の委員会において、誠実かつ慎重に審査を行います。また、採択した請願については、必要に応じて、知事等に対しその処理の経過及び結果の報告を求めるほか、国等に対し意見書を提出するなど、議会として願意の実現に向けた取組を行います。	請願審査は適切な方法で実施しましたか(執行部からの意見聴取や紹介議員の出席要求、請願者の参考人招致など)。 採択した請願の願意の実現に向けて、具体的な取組を行いましたか。(知事等に対する経過報告等の要求、知事等への申し入れ、意見書の提出など)		

総務地域連携デジタル社会推進常任委員会 活動実績書(案) (令和3年5月～令和4年5月)

令和4年4月18日現在

1 所管調査事項

- ・行財政の運営について
- ・地域振興の推進について
- ・スポーツの振興について
- ・県南部地域の活性化について
- ・デジタル社会の形成について

2 重点調査項目

- (1) 行財政改革取組について
- (2) 交通政策について
- (3) スポーツの推進について
- (4) 南部地域の活性化について
- (5) 社会全体のDXの推進について

3 活動計画表

重点調査項目	令和3年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和4年 1月	2月	3月	4月	5月
(1) 行財政改革取組について (2) 交通政策について (3) スポーツの推進について (4) 南部地域の活性化について (5) 社会全体のDXの推進について	常任委員会 所管事項説明 (5/26) 予決分科会 補正予算 (5/27)	予決分科会 補正予算 (6/7) 常任委員会 議案の審査、 所管事項の 調査等 予決分科会 補正予算等 (6/21, 23) 予決分科会 補正予算 (6/28)	県内調査 (7/28)	予決分科会 補正予算 (8/3) 県内調査 (8/5) 予決分科会 補正予算 (8/11, 27)	予決分科会 補正予算 (9/27)	予決分科会 補正予算 (10/13) 常任委員会 議案の審査、 所管事項の 調査等 予決分科会 補正予算等 (10/22, 26)	予決分科会 令和2年度歳入歳 出決算(11/16) 予決分科会 補正予算 (11/26)	予決分科会 所管事項の調 査(当初予算 編成に向けて の基本的な考 え方)(12/1) 常任委員会 議案の審査、 所管事項の調 査等 予決分科会 補正予算等 (12/16, 20)		予決分科会 補正予算 (2/10, 24)	常任委員会 議案の審査、 所管事項の 調査等 予決分科会 当初予算、補 正予算等 (3/14, 16) 予決分科会 予算関連議 案 (3/31)	常任委員会 委員会活動 の評価 (4/18)	
執行部の主な予定		令和3年版 成果レポー ト(案)					令和4年度行政展 開方針(暫定版) 一般会計・特別会 計決算 当初予算編成に向 けての基本的な考 え方	当初予算要求 状況		当初予算案 「強じんな美 し国ビジョン みえ(仮称)」 (概要案)、 「みえ元気プ ラン(仮称)」 (概要案)	令和4年度 行政展開方 針		

4 県内外調査について

(1) 県内調査

7月28日(水)(日帰り) 県営スポーツ施設の整備状況(三重交通G スポーツの杜 鈴鹿)やDXの推進に関する取組等(桑名市議会)について調査を行った。

8月5日(木)(日帰り) 公共交通空白地域の解消に向けた取組(紀北町議会)や東紀州地域での観光振興の取組(一般社団法人東紀州地域振興公社)について調査を行った。

(2) 県外調査

九州方面にて、AI活用型デマンドバス、AI・IoT技術の活用推進等について調査を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い中止した。

調査・審査結果の施策への反映に関する参考資料

- 1 令和3年版「成果レポート」…………… 1
(R3.10.6 全員協議会資料抜粋)

- 2 「強じんな美し国ビジョンみえ（仮称）概要案」及び
「みえ元気プラン（仮称）概要案」…………… 2
(R4.3.31 知事申し入れ資料抜粋)

- 3 請願への対応…………… 3

- 4 各定例月会議における委員長報告一覧…………… 4

「『令和3年版成果レポート』に基づく今後の『県政運営』等に係る意見」への回答

【総務地域連携デジタル社会推進常任委員会】

●施策の取組

施策番号	施策名	主担当部局名	委員会意見	回答
241	競技スポーツの推進	地域連携部 国体・全国障害者スポーツ大会局	三重とこわか国体で終わることなく、競技力の維持・向上に向けて引き続き県の重要な施策として方向性を示し、より一層の取組を進められたい。 また、三重とこわか大会開催の機会を捉えて、競技力が一定のレベルに達したパラアスリートに対する競技力の向上への支援にも取り組まれたい。	三重とこわか国体に向けた競技力向上の取組により、選手や指導者、競技団体の中で築き上げられたレガシーの力も生かしながら、引き続き、本県選手の強化など、競技力の維持・向上に努めてまいります。 パラアスリートの競技力の向上への支援については、子ども・福祉部とも協議しながら、同部との連携のあり方などについて、しっかりと検討していきます。
352	安心を支え未来につながる公共交通の充実	地域連携部	幹線バスの維持・確保のため、存続に向けた取組が必要とされているが、市町とも協力しながら最善の方法で利便性向上や利用促進にしっかりと取り組まれたい。	昨年度実施した利用者への利用目的や利便性に関する聞き取り調査結果もふまえ、市町の地域公共交通会議などの場を通じ、市町と協議しながら取組を進めていきます。
354	水資源の確保と土地の計画的な利用	地域連携部	三重県では地籍調査の進捗率が非常に低い状況にあるが、大規模災害発生時の迅速な復旧・復興の観点からも重要性が認識されていることから、さまざまな手法を有効に活用しながら取り組まれたい。	リモートセンシングなど新技術を用いて国が市町の地籍調査の一部を実施する効率的な手法導入推進基本調査については、市町とともに国へ働きかけを行い、2市で実施されたところです。引き続き、さまざまな手法を活用しながら地籍調査の推進に取り組みます。

●行政運営の取組

行政運営番号	施策名	主担当部局名	委員会意見	回答
3	行財政改革の推進による県財政の的確な運営	総務部	コロナ禍をきっかけにDXが注目されている機会を生かして、自動車税種別割の納期内納付率の向上などの税収確保に向けて、スマートフォン決済アプリ等を活用したキャッシュレス決済の普及促進に取り組まれたい。	自動車税種別割の納期内納付率の向上については、これまでコンビニやMMK、クレジットカードによる納付など、さまざまな取組を行っており、昨年度からスマートフォン決済アプリでの納付を開始しました。引き続き、スマートフォン決済アプリ等によるキャッシュレス決済の普及に向けて、県民の皆さんに周知を図るとともに、デジタル技術を活用した納税環境の整備に努めてまいります。
6	スマート自治体の推進	デジタル社会推進局	地域機関の総合庁舎などでは、Wi-Fi環境の整備が予定されているが、今後、単独の地域機関も含め、県庁全体のWi-Fi環境の早期整備に向けて取り組まれたい。	Wi-Fiをはじめとしたネットワーク環境の整備に注力していく必要性は十分認識しており、使用状況やニーズを把握しながら段階的に環境整備を進めていけるよう検討していきます。

**「強じんな美しい国ビジョンみえ(仮称)概要案」及び
「みえ元気プラン(仮称)概要案」に対する意見**

総務地域連携デジタル社会推進常任委員会

施策番号	施策名	主担当部局	委員会意見
9-1	市町との連携による地域活性化	地域連携部	人口減少対策の総括は戦略企画部で担当するが、地域連携部の立場からも、人口減少対策を推進していく必要があることから、人口減少対策課と連携して取組を進められたい。
9-2	移住の促進	地域連携部	施策9-1と同じ
9-3	南部地域の活性化	地域連携部 南部地域活性化局	取組方向に人口の流出を緩やかにとあるが、人口減少対策の観点からは消極的な姿勢に感じられることから、施策の成果・効果が現れるよう積極的な取組を進められたい。 人口減少対策を行う上で南部地域は大きな要素を占めることから、これまでに得られた知見を生かして、人口減少対策課と連携して取組を進められたい。
9-5	DXの推進	デジタル社会推進局	デジタル技術の急速な進展をふまえ、先端技術に関する情報を収集するとともに活用に向けた検討について記述されたい。
10-2	公共交通の充実・確保	地域連携部	県民が利便性を感じることができる公共交通の充実に向けて取り組まれたい。

施策・行政運営の取組以外(「基本理念」、「政策展開の基本方向」など)に関する意見

○人口減少対策は全庁的に推進していくとされているが、関連する各施策には人口減少対策に関する記述を読み取ることができないため、具体的に注力する取組内容も含めて明確に示されたい。

請願への対応

	受理番号	請願	委員会審査		処理経過 報告要求	請願に係る意 見書	本会議	
			審査結果	審査日			採決の結果	採決日
	請32号	自動車関係諸税などの見直しに関する意見書の提出を求めることについて	採択	R3. 10. 26	なし	あり	採択	R3. 11. 1
	請41号	県議会議員定数の伊賀市選挙区削減の撤回を求めることについて	不採択	R4. 3. 14	なし	なし	不採択	R4. 3. 24

各定例会月会議における委員長報告一覧

9月定例会月会議

(11/1常任委員長報告)

○三重とこわか国体・三重とこわか大会の延期見送りに伴う取組について

開催が予定されていた両大会の準備にあたっては、10年間にわたり、市町や競技団体など、多くの関係者、県民の方に協力、支援をいただきました。また、競技団体などと連携しながら競技力の向上に努められてきたところです。

現在、両大会での活躍を目標に努力を重ねてきた選手がその成果を発揮する機会として、競技団体などにおいて、代替大会の開催に向けた取組が進められています。

県当局におかれては、競技団体などに過度な負担が生じることがないように、代替大会開催に十分なサポートを行うとともに、これまでに培われた競技力向上の取組を生かしていくため、引き続き選手・競技団体に対する積極的な強化活動の支援を行い、本県における今後の競技力向上とスポーツ振興につなげられるよう要望いたします。

○産業廃棄物税制度の検証について

本制度は、平成13年6月に三重県産業廃棄物税条例の制定により創設され、条例の施行後、5年ごとに制度の検証が行われており、資源循環に関する社会情勢の変化などによる観点から、今年度、見直しの検証が進められています。

近年は、産業廃棄物税の税収は安定的に推移しており、産業廃棄物税分の環境保全基金への積立額は、令和2年度末で約20億円となっていることから、今後、脱炭素にも資する循環型社会の実現に向け、より一層の基金の有効活用を図ることが必要であると考えます。

県当局におかれては、検証を進めるにあたり、排出事業者などの意見を聴きながら課題を整理し、使途事業の対象の拡大に向けて、十分に検討されるよう要望いたします。

2月定例会月会議

(3/22分科会委員長報告)

○南部地域の活性化について

令和4年度は「人口減少対策元年」として体制を整備し、人口減少対策の取組を強化していくこととされており、特に県内でも人口減少が著しい南部地域への対策は大きな課題となっています。

人口減少対策の観点からも重要となる南部地域の活性化に係る令和4年度の当初予算は前年度と同額程度となっていますが、県当局におかれては、人口減少対策を充実したものとするため、南部地域の活性化に関する取組をこれまで以上に積極的に行われるよう要望いたします。

常任委員会活動 上半期振り返りシート

委員会名：総務地域連携デジタル社会推進常任委員会

○委員会審議の活性化の視点

- ・ 執行部の所管事項等についてしっかりと議論を行い、審議することができた。

○年間活動計画について・ 重点調査項目

- ・ 「スポーツの推進」については、「三重とこわか国体・三重とこわか大会」は中止となったものの、これからのスポーツの振興・競技力向上に対して多くの委員からさまざまな意見があり、今後も委員会としてしっかり議論を行っていく必要がある。
- ・ 「社会全体のDXの推進」については、まだまだ調査が必要だと思っており、今後可能であれば県外調査などを実施し、委員会での議論を深めていきたい。

・ 県内外調査

- ・ 県内調査は、コロナ禍ではあったが、きちんと対策を講じ、有意義な調査を行うことができた。

7月28日 三重交通G スポーツの杜 鈴鹿（県営スポーツ施設の整備状況）
桑名市議会（DXの推進に関する取組）

8月5日 紀北町議会（公共交通空白地域の解消に向けた取組）
東紀州地域振興公社（東紀州地域での観光振興の取組）

○その他